



蒸し暑さが増してきました。昨年より更なる猛暑が予測されていて心配なところですが、体調に合わせて沐浴や清拭をしてもらったり、湯水遊びやプールあそびをメインに楽しんだり、エアコンを使用して室内でゆっくり過ごすなど、静と動を穏やかに繰り返しながら、この夏も子どもたちが「気持ちよく存分に」過ごせるよう日々工夫を凝らしていきます。



今号は夏に気をつけたい感染症と保育園での暑さ対策等についてのお知らせです。



「ヘルパンギーナ」

感染後2~4日で38~40℃の高熱が突然出ることが多いです。発熱に続いて強い喉の痛みが現れ、食事や水分摂取が困難になることがあります。口の中に直径1~5mm程度の小さな水ぶくれが複数出現し、水疱が破れると白い口内炎のような潰瘍になり痛みを伴います。



*保育園の登園基準は「発熱や口腔内に水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれる」となっています。

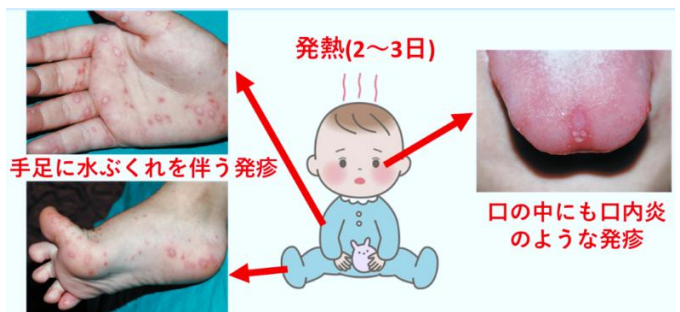


「手足口病」

手のひらや足の裏、手首、足の甲、肘や膝、お尻などに2~3mm程度の赤い水疱ができ、口内炎(潰瘍)になることもあります。

軽度の発熱(38℃以下)が2~3日続くことも。

*保育園の登園基準はヘルパンギーナと同じです。



げんきに
あそぼうね

暑さ対策



園庭あそびが可能な日は、日よけネットやテント下など直射日光が当たらない場所を選んで遊びます。一人ひとりの体調に合わせて“バケツ”や“たらい”の水に触れたり、湯水のプールに足を入れたりしながら気持ちよく遊べる工夫をしています。「色水あそび」「洗濯ごっこ」「水たまりプール(浅いプール)」「ミストシャワー」などが子どもたちに人気です♪
保育室に戻る前には温水シャワーで体を流し、タオルできれいに拭いてもらって着替えのお洋服を着ています。

0歳児クラスでは体調・天候・月齢を考慮したうえで、湯水に触れるあそびや沐浴・清拭を行っています。

***沐浴も湯水遊びも〇× 記入(保護者の方の記入)を
毎朝忘れずお願いします***



6月25日(木) 歯科検診を受けました(*^_^*)

榊原せんせい
いつもありがとう♡

虫よけ対策



保育室内では電子蚊取り器、園庭では虫除けネットと昔ながらの蚊取り線香を使用しています。それでも防止が難しいのが現状です。そのため、家庭から虫よけシールをつけてくるお子さんもいますが、シールは誤飲のもとになりますので基本不使用とさせていただきます。お子さんによっては虫さされ跡がひどく腫れてしまうケースもあるので、どうしてもという方はご相談ください。またリストバンドやクリップなどのグッズもケガなどの原因に繋がるため保育中は使用不可となっています。虫よけスプレーを使用される方は対象年齢等をご確認の上、登園前に使用していただくことをお願いしています。

水分補給



毎日お家から持って来てくれている水筒(マグ)に保育園の麦茶や番茶を入れて飲んでいます。戶外遊びの後だけでなく日中定期的に水分補給して、水筒内のお茶が少なくなったら随時補充しています。衛生管理のため降園時には水筒やマグを空にしてお返していますので、毎回お家で水筒の内側(ストローも)等よく洗浄・乾燥して翌朝空の状態を持って来て下さい。

ご理解とご協力をよろしくお願いします。